社会科	第１学年	熊野町立熊野東中学校	指導者　安部　里音

単元名

「世界の諸地域」
～北アメリカ州～

本単元で育成する資質・能力　知識　　振り返る力　他者理解

単元について

本単元は中学校学習指導要領（平成 29 年告示）解説社会編「地理的分野」内容　中項目「（２）世界の諸地域」のうち，空間的相互依存作用や地域などに関わる視点に着目して，世界の各地域で見られる地球的課題の要因や影響をその地域的特色と関連づけて取り扱う。

北アメリカ州には、カナダやアメリカ合衆国、メキシコ湾に面したメキシコやキューバ、カリブ海の島からなる国々があるが、本小単元では、アメリカ合衆国を中心に取り上げ、地域的特色を理解させていく。

またアメリカ合衆国は、政治・経済・文化の面で世界のリーダー的な存在である。広大で肥沃な土地を利用した農業、豊かな地下資源とコンピューターをはじめとする最先端を誇る工業、多くの移民を受け入れ，多様な人種の存在を活力とし，アメリカ合衆国は多方面で世界を大きくリードするに至っている。そしてつい先日、大統領選が行なわれたこともあり，世界が次期大統領に注目している。しかし、今日では社会構造による差別，不法移民などの問題が見られるようになってきている。このようなアメリカ合衆国を学習することによって、北アメリカ州が世界に与える影響と多文化が共生する社会の実現に向けて多面的・多角的に考察する

生徒の実態

社会科の中でも地理を得意または関心があるといった生徒が多く，日頃の授業の班活動においても，しっかりと考えを共有したりまとめたりできている。11 月の学力向上アンケートでは，「社会科の授業では，自分の考えたことを相手に伝える対話的な学習があり，相手の考えを知って，自分の理解や考えが深まったと感じる。」に肯定的な回答をしていた生徒が，71．7%であった。したがって，今回の学習においても，対話的な学習を通して社会的事象への理解・考えを深めるとともに多面的・多角的に考察させていきたい。

単元の指導

中学校学習指導要領（平成２９年告示）解説社会編では「単元などの内容や時間のまとまりを見通した『問い』を設定し，『社会的な見方・考え方』を働かせることで，社会的事象の意味や意義，特色や相互の関連等を考察したり，社会にみられる課題を把握してその解決に向けて構想したりする学習」の充実を求めている。

そこで本単元の指導では，既有の知識を活用しながら「なぜアメリカは世界有数の経済大国となっているのか」を，単元を貫く問いとして設定する。

そして，生徒個人の考察と他者の考察を比較し，選択・判断をして，より深い学びにしていくために，考察したことをグループ内や他のグループに説明するといった対話的な学習場面を設定した授業構成にする。アメリカ合衆国が経済大国で，人種が共存しているという地域的特色を様々な視点や立場から多面的・多角的に考察させ，これからの日本社会と照らし合わせながら，多文化で共生する社会の実現に向けて考えさせたい。

単元の目標

○北アメリカ州の国々の関わりや，アメリカの自然環境，産業の特徴や，アメリカ合衆国の成り立ちについて理解し，必要な知識を身に付けている。また，どうしてアメリカが経済大国なのかを資料をもとに読み取りまとめている。【社会的事象についての知識・技能】

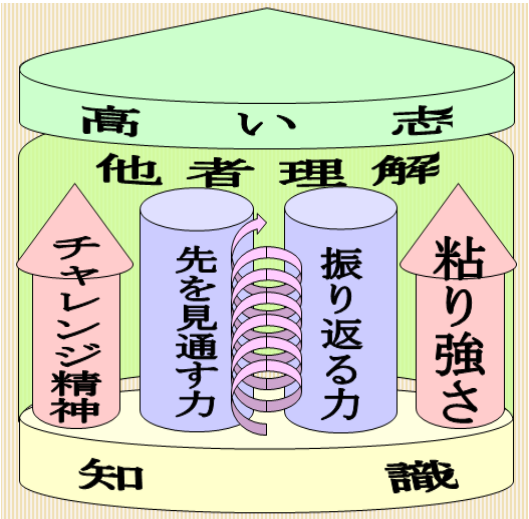
○資料から読み取ったことをもとに，アメリカが経済大国になった要因を様々な視点から考察しようとしている。【思考力・判断力・表現力】

○経済大国であるアメリカと世界の関わりについて日本を含め身近な地域との事例から捉えたりすることで，世界に与える影響について意見を伝えようとしている。また，共生していく社会の実現のために必要なことについて，自分の意見を伝えようとしている。【学びに向かう力・人間力】

単元の評価規準

ア　社会的事象についての知識・技能	イ　思考力・判断力・表現力	ウ　主体的に学習に取組む態度
①　北アメリカ州の自然環境の特徴について，資料から読み取り，まとめている。 ②　アメリカ合衆国がなぜ移民が多いのか，様々な視点から資料を選んで読み取り，まとめている。 ③　アメリカの農業の特徴や分布について，理解をしている。 ④　アメリカの工業について北部の方で発達し，五大湖周辺やサンフランシスコ南部で生産されているものが違うことを理解し，まとめている。 ⑤　新たな文化や，ヒスパニックがアメリカ経済に与える影響を理解している。	①　アメリカ合衆国になぜ移民が多いのかを様々な視点から考察している。 ②　アメリカで農作物が大量生産できる理由を考察している。 ③　工業が発展した背景について資料をもとに考察している。	①　アメリカから日本に入ってきた産業や文化について考察し，どのようにして入ってきたのかの要因を探ろうとしている。 ②　これまでの学習したことを振り返り，アメリカがなぜ世界有数の経済大国なのか意見を伝えようとしている。 ③　多文化社会の実現のために必要なことについて，自分の意見を伝えようとしている。

育成しようとする資質・能力の本単元とのかかわり



〈高い志〉
○

〈知識〉
○アメリカ合衆国の様々な特徴について理解できる。

〈振り返る力〉
○学習したことをもとに，なぜアメリカは世界有数の経済大国なのかをまとめることができる。

〈先を見通す力〉
○

〈チャレンジ精神〉
○

〈粘り強さ〉
○

〈他者理解〉
○国家や移民の立場に立って考察できる。

指導と評価の計画

（全６時間）

次	学習内容（時数）	評価				
		知	考	学	評価規準 (評価方法)	資質・能力の評価 （評価方法）
1	課題の設定　　情報の収集 ○　アメリカが世界No.１のものを確認し，単元を貫く問いを設定する。 （１/６時） なぜアメリカは世界有数の経済大国となっているのだろうか。 ○北アメリカ州の自然環境について理解する。 ・北アメリカ州の地形について理解できる。 ・雨温図をもとに，北アメリカ州の各地域の気候について読み取ることができる。	○			ア① （ワークシート・小テスト）	知識 （ワークシート・小テスト）
2	本時の内容 ○アメリカはなぜ移民が多いのかを資料からまとめ説明できる。 （本時） ・　歴史的な視点から移民が多い理由を考察する。 ・　経済的視点から移民が多い理由を考察する。 ・　その他（エンターテイメント・文化）の視点から移民が多い理由を考察する。 ・		◎		ア② （ワークシート） イ① （ワークシート）	他者理解 （観察）
3	○　なぜアメリカは多様な農作物を大量生産できる理由を資料からまとめ説明できる。 （３/６時間） ○アメリカの農業分布を資料からまとめる。 ・　資料や写真をもとになぜ大量生産ができるのかを考察できる。	○	◎		ア③ （ワークシート） イ② （ワークシート）	他者理解 （観察･ワークシート） 知識 （ワークシート）
4	○　アメリカの重工業や新しい工業の特色について説明することができる。 （４/６時間） ・アメリカの工業分布や生産品目から，重化学工業や新しい工業の分布の特徴を読み取ることができる。 ・資料をもとに様々な条件からアメリカの工業が発展した要因について考察できる。		◎		イ③ （ワークシート）	他者理解 （観察･ワークシート）

5	○　アメリカの産業が世界に与えた影響とヒスパニックがアメリカに与えた影響について考える。 （５時間） ・　日本でアメリカから入ってきた産業や文化について考察し，どのようにして取り入れられたかを資料から捉える。 ・　ヒスパニックがアメリカ経済の活力として必要とされていることを理解し，まとめることができる。 ・　アメリカの工業と北アメリカ州の工業の結びつきについて理解するこができる。	◎		○	ウ① （ワークシート） ア⑤ （小テスト・ノート）	知識 （小テスト・ノート）
6	整理・分析 ○今まで学習してきた内容を振り返り，アメリカの経済が発展した理由を整理する。 まとめ・創造・表現 ○班での話し合い 実行 振り返り ○アメリカがなぜ経済大国なのかを，今までの学習してきたことを振り返り，文章でまとめることができる。また多民族国家において共生社会を築くために必要なことについて自分の意見を表現できる。 （６時間）			◎ ○	ウ② （ワークシート） ウ③ （ワークシート）	他者理解 （観察） 振り返り （ワークシート）

本時の学習（２／６時間）

（１）本時の目標

アメリカはなぜ移民が多いのかを資料をもとにまとめ，説明できる

（２）本時の学習展開

学習活動	指導上の留意事項（◇） 「努力を要する」状況と判断した生徒への手立て （◆）	評価規準 （評価方法）	資質・能力の評価 （評価方法）
１　最近の時事ネタを使い興味を持たせる（５分）			
○ペンシルベニア州で起きた白人警官による黒人射殺事件のニュースを見てどう思う？と問う。 →人種が違うと差別があることに気付かせる。			
２　生徒のイメージを覆し，新たな疑問を生じさせる（１０分）			
○世界における移民受け入れランキングを示す。アメリカは世界１移民を受け入れており，日本よりもはるかに移民を多く受け入れていることに気付かせ，逆に日本のほうが移民に対して厳しい態度をとっていることに気付かせる。 ○「差別が問題になっているにもかかわらず，どうしてアメリカには移民が多いのか」と問いかけ課題			

を設定する。 めあて：アメリカはなぜ移民が多いのかを資料をもとにまとめ，説明できる			
３　情報収集・整理分析・表現（３０分）			
○まず歴史的な背景，経済的な視点，その他の視点の３つを班に振り分ける。そして根拠となる資料を３つ以上選び，読み取ったことを付箋に書く。なお，付箋に書くときにどの資料を使ったかも書く。 ○集めた情報をもとにどうしてアメリカに移民が多いのかをまとめる。	◇・歴史的な背景（１・２・３班） ・経済的な視点（４・５・６班） ・その他の視点（７・８・９班） それぞれの視点においてまず個人で資料を選び読み取ったことを付箋に書く。 【対話的な学習場面１】 資料からまとめたものを整理し，どうして移民が多いのかをまとめる。	ア② （ワークシート）	他者理解 （観察） 知識 （ワークシート）
予想される解答 ・<u>歴史的な背景</u> アメリカはヨーロッパ諸国の植民地であり，多くのヨーロッパ人が移り住んできた。また，労働力としてアフリカの方から黒人が奴隷として輸入されたり，戦争などで領土を拡大し様々な民族を支配していったから。 <u>経済的な視点</u> アメリカは経済が発展しており，収入が多く稼ぐためにアメリカに移り住む人が多い。また，アメリカは世界一の経済大国であり，世界の最先端であるため，この地位を保つためにも，多くの人や知恵が必要であり、移民をたくさん受け入れているため。 <u>その他の視点</u> 野球・バスケットボールの本場で実力を試したり，ハリウッドでの映画出演を目指しアメリカンドリームをつかみに移り住む人がいるため。また，世界トップレベルの大学もあり，そこに進学する人がいるから。			
○集めた情報をもとに，各班に発表係が説明しに行く。 →1 回目　　2 回目 1 班→4 班　　1 班→7 班 2 班→5 班　　2 班→8 班 3 班→6 班　　3 班→9 班 4 班→7 班　　4 班→1 班 5 班→8 班　　5 班→2 班 6 班→9 班　　6 班→3 班 7 班→1 班　　7 班→4 班 8 班→2 班　　8 班→5 班 9 班→3 班　　9 班→6 班 ○聞いたことをもとになぜアメリカに移民が多いのかをワークシートにまとめる。	【対話的な学習場面２】 まとめた内容をほか班に説明しに行く。	イ① （ワークシート）	

【「おおむね満足できる」状況（B）と判断する根拠】
〇３つの視点の内，２つが入っている。
〈記述例〉
アメリカに移民が多い理由として，まず１８世紀ごろにヨーロッパから新たな地へと脱出した人々がアメリカに集まった。また，アメリカでの労働力として黒人が奴隷として連れてこられた背景もある。現代では，様々な人種の知能を生かし経済を発展させるために移民を受け入れたり，経済大国であるアメリカには働く場所と高い賃金を獲得できるため移民が多い。

【「十分満足できる」状況（A）と判断する根拠】
〇歴史的な視点，経済的な視点，その他の視点の３つが入っている。
〈記述例〉
アメリカに移民が多い理由として，まず１８世紀ごろにヨーロッパから新たな地へと脱出した人々がアメリカに集まった。また，アメリカでの労働力として黒人が奴隷として連れてこられた背景もある。現代では，様々な人種の知能を生かし経済を発展させるために移民を受け入れたり，経済大国であるアメリカには働く場所と高い賃金を獲得できる。また世界最高峰の演劇やスポーツがあり，アメリカンドリームを夢見て世界から集まるため移民が多い。

【「努力を要する」状況（C）と判断する生徒への手立て】
１つずつそれぞれの視点を振り返らせ，難しい場合は，１つ視点を選ばせ，それをもとに学習した内容を文章として書かせる。

４　まとめ（５分）			
〇新たな課題設定 様々な人種が集まってくるアメリカなら，アメリカから世界に広がったものでどんな食材があるだろう？ 〇自己点検票を記入させる			振り返る力（自己点検表）

（３）板書計画

めあて：アメリカはなぜ移民が多いのかを資料をもとにまとめ説明できる。

どうして移民（様々な民族）が多いのかの根拠

歴史的な背景	経済的な視点	その他の視点
18 世紀頃ヨーロッパからたくさんの移民が渡ってきたから。	経済が発展しており雇用が多いから。	世界最高峰の大学で勉強するため
奴隷貿易により多くの黒人が連れてこられたから。	年収がアメリカとその他の国では全く違い、稼ぐため。	アメリカが本場のスポーツやエンターテイメントで実力を試すため。
アメリカは様々な戦争に打ち勝ち領土を拡大していったから。	世界１の経済大国を保つには，多くの人材と知恵が必要であり，多くの移民を受け入れる体制があるから。	メキシコからの不法移民が絶えないため。